

港湾空港局

一般会計要求総額

11,434百万円
(対前年度予算 + 5.6%)

特別会計要求総額

13,200百万円
(対前年度予算 48.4%)

〔要求に当たっての基本的考え方〕

- 1 物流拠点都市づくりの推進のため、北九州港・北九州空港という海と空の「みなと」の需要の拡大を目指します。
- 2 市民が憩い、賑わう「みなとまちづくり」を推進するとともに、美しき世界の環境首都の実現を目指します。
- 3 既存施設を有効活用し、コスト削減を図るとともに、効率的で安全安心な管理運営を目指します。また、港湾整備特別会計の安定化を図るため、収支の改善に努めます。

21世紀のものづくりを支える物流拠点都市づくりの推進

港湾改修(特重)事業	280百万円〔整備課〕
国直轄事業負担金	4,045百万円〔計画課〕
北九州港港湾計画改訂事業	58百万円〔計画課〕
北九州空港アクセス鉄道基本調査	20百万円〔物流振興課〕
北九州港利用促進補助事業	112百万円〔物流振興課〕
響灘地区創貨促進助成事業	5百万円〔立地促進課〕
北九州国際エアカーゴターミナル整備推進事業	150百万円〔空港企画室〕
市制45周年・アジアゲートウェイ推進チャーター事業	28百万円〔空港企画室〕



市民の憩う「みなとまちづくり」の推進

日韓旅客定期航路開設準備事業	26百万円〔総務経営課〕
市民参加による魅力的な水際線づくり事業	459百万円〔総務経営課・整備課〕

効率的で安全安心な港湾経営の実現

港湾改修(統合補助)事業	663百万円〔整備課〕
既存施設の集約化促進検討協議会運営事業	2百万円〔港営課〕
北九州港港湾施設保安対策事業	201百万円〔港営課〕

主な事務事業の見直し等

- ・維持補修業務の見直し
- ・日本海峡フォーラムの見直し



小学生によるムラサキイガイを用いた洞海湾の環境修復実験

日韓旅客定期航路開設準備事業

平成20年6月に就航予定の日韓旅客定期航路(門司港・西海岸-釜山間)について、必要な施設の整備等を行う。

市民参加による魅力的な水際線づくり事業

多くの市民がみなとや海辺の魅力に接することができるよう、計画づくりから施設整備、利活用までの様々な段階で市民参加を図る。